

# 行政職員として、青少年 育成実践者との関係づくりを



## 研修事業

### リードアップセミナー

青少年行政に携わる新規採用や転出職員等に向けた研修。職務に必要な知識だけでなく、参加者相互の交流も多い。

### 子どもの体験活動をすすめる 指導者セミナー(親業編)

青少年育成に関わる方々の要望に応じて実施した研修。今年度は親業(ゴードンメソッド)の考え方を通して、子どもが前向きな気持ちになれる関係づくりを学んだ。

## 活用事業

### 小田原市「非日常型体験学習」の企画・運営

小田原市の小学5・6年生対象の事業。7月下旬に2泊3日で、電波の届かない長野県飯田市「大平宿」で実施。火起こしをはじめ様々な体験を通して自主性・自立心・協調性・創造性を育む。

### 小田原市の紹介と青少年課の取り組み

小田原市は人口約185,000人を有し、神奈川県で10番目の規模である。500年以上の歴史を誇る小田原城が全国的に有名。青少年課では、「はたちのつどい」の企画運営、青少年育成指導者の養成や子ども会活動の支援、子どもの居場所づくりに関する事業に取り組む。



## Interview



樽木 将吾

2024年7月から青少年課に配属。今年度は、小学生向けの宿泊体験学習事業や青少年育成推進員、ユースリーダー等の支援に取り組む。7月に実施した「非日常型体験学習」では、研修の成果を発揮し、サポーター(実行委員会)が活動しやすい環境づくりに重点的に取り組んだ。

### 一この研修で得られたことと、実際の活動に活かしたことは何ですか？

宿泊を伴う野外体験活動や有識者の講義を通して、青少年行政に携わる職員として必要な知識やスキルを多く学ぶことができましたが、特に重要だと感じたのは「現場で活動している関係団体を大切にする視点」です。

私が担当した非日常型体験学習は、廃村「大平宿」で実施する宿泊体験学習事業です。スマホの電波が届かず、便利な電化製品も使えない環境での生活体験を通して、子どもたちの自主性や協調性を育むことを目的としていますが、これを達成するためには、ボランティアとしてご協力いただくサポーター(実行委員会)の存在が不可欠です。

研修で学んだ「関係団体を大切にする視点」を活かし、企画段階から、サポーターの方々の方が活動しやすい環境を整えることを意識し、事務局として積極的にフォローすることで、円滑に事業を進めるよう努めました。

### 一活動に活かすために工夫した点がありますか？

サポーターからの相談に対して、事務局として一つひとつ丁寧に、かつ前例に捉われず柔軟に対応することを心がけました。

提案を受けた際は、できない理由を探して断るのではなく「どうすれば実現できるか」を考えるようにしました。

提案や相談を受けた時こそ、事務局とサポーターとの信頼関係を深めるチャンスだと捉え、事業の目的に沿った形で、アイデアを具体化することに挑戦してきました。

### 一活動に活かした結果いかがでしたか？

サポーターの考え方を尊重し、同じ目線で体験学習を組み立てる中で、囲炉裏を使った五平餅の調理や、旧小学校の黒板を活用した黒板アートなどの新規プログラムの実現に繋がりました。

特に五平餅は、体験学習実施場所の大平宿が発祥と言われる郷土料理であり、地域の特色を活かしたプログラムとして好評でした。また、黒板アートでは、子どもたちが自らの手で黒板に思い出を残し、全員で一つの作品を仕上げることで忘れられないプログラムになりました。

これらの個々のプログラムが充実していたことに加え、非日常型体験学習全体としても参加者や保護者の満足度が高い結果となりましたが、サポーターの皆さんが意欲的に取り組んでくださったことが大きな要因だったと感じています。

### 一これから県立青少年センターに期待することや受けてみたい研修のテーマはありますか？

体験活動等で活かせる「令和の時代の子どもの接し方」を学べる研修を希望します。(ハラスメントと指導の境界線や、昔は許容されていたが今ではNGな行動なども)

# 子どもたちの体験を 温かく見守って…



## 活用事業

### 宿泊体験団体の受付対応、 体験プログラム実施の支援など

施設にて行う入所式や体験プログラム実施中の過程や、宿泊中の子どもたちとのコミュニケーションにおいて活用した。

## 研修事業

### 子どもの体験活動をすすめる 指導者セミナー(親業編)

青少年育成に関わる方々の要望に応じて実施した研修。今年度は親業(ゴードンメソッド)の考え方を通して、子どもが前向きな気持ちになれる関係づくりを学んだ。

よこはまユース 野島青少年研修センターについて青少年の体験事業や青少年育成活動支援等を行っているよこはまユースが、金沢区の野島公園内に建てた宿泊体験施設。学校や子ども会、クラブチームなど多くの団体が利用している。野島海岸に野島山、八景島、金澤漁港にシーサイドラインなど、自然・歴史・産業等に関連した体験学習プログラムを企画できる。



## Interview



石村 裕子

公益財団法人よこはまユース 野島青少年研修センターに所属。これまでも青少年センターの研修に参加し、様々な職種・立場の受講者と顔見知りになり、つながりを深めている。親業の内容を通して、子どもとの関わり方や自身の活動意義等に結びつけ、自身の向上に努めた。

—この研修で得られたことと、実際の活動に活かしたことは何ですか？

「聞く耳を持つ態度を分かりやすく示す」ということです。上から押し付けたり、決めつけて話をしたりしないようにし、「相手にどう伝わるか」を配慮して接することを学びました。

—活動に活かすために工夫した点がありますか？

年齢相応に、中高生団体のメンバーに対しては、細々とルールを伝えず、そのルールで何を大切にしているのか伝えるようにしました。こちらからあまり多くのことを伝えず、活動を信じて委ねるように変えました。

小さな子に対しては、相手が威圧的に感じてしまわないように、たくさんあるルールも楽しく伝えるよう、ぬいぐるみを説明に利用したりしました。

—活動に活かした結果いかがでしたか？

子どもたちに直接的に関わることはほとんどないため、実感としての変化はあまりよくわからないのが現状です。ですが、自分自身の「子どもたちへの接し方」の落としどころとして、親業を1つの方法として研修内容を活かしていきたいと思っています。

—これから県立青少年センターに期待することや受けてみたい研修のテーマはありますか？

ファシリテーション(研修の進め方)、研修コーディネートの考え方、行った研修や事業の事例発表会やフォーラム、お互いから学びあえる講座、オープンダイアログ、育成者同士の傾聴などは、所属での活動を通じて必要ではないかと思いました。

## 子どもたちの可能性を 信じて見守る



### 研修事業

#### 体験学習プログラムセミナー

地域で青少年育成に関わる指導者を対象とした研修事業。  
アイスブレイキングやチームビルディング等の手法を学ぶ  
だけでなく、実際の指導体験も行える。

### 子どもの体験活動をすすめる

#### 指導者セミナー(親業編)

青少年育成に関わる方々の要望に応じて実施した研修。  
今年度は親業(ゴードンメソッド)の考え方を通して、  
子どもが前向きな気持ちになれる関係づくりを学んだ。

### 活用事例

#### 小中学生が企画・運営するキャンプファイヤー インクルーシブ活動

キャンプファイヤーのレクでアイスブレイキングを取り入れ、  
子どもたちが自分の役割として自ら説明と見本を見せ、  
活動を通して笑顔を引き出すことの楽しさを体験できた。  
インクルーシブ活動で親業の考え方を活用し、子どもの考えを  
できるだけ引き出せるよう関わりを意識し、子どもの意欲の  
高まりが感じられるようになった。

### SANPO 株式会社グッデイ kids について

東京都大田区に位置する児童支援教室。石川台教室  
と雪が谷大塚教室の 2 か所で活動していて、  
未就学対象の児童発達支援、就学対象の放課後等  
デイサービス事業を行っている。

### NPO 団体モーネについて

東京都杉並区を拠点とした団体。子どもたちの好  
奇心を刺激する宿泊プログラムや野外体験活動、  
ジュニアリーダー会議等を企画・運営している。

東京都杉並区 ●

東京都大田区 ●



## Interview



有吉 真

SANPO 株式会社グッデイ kids に勤務。児童発達支援、放課後等デイサービスの事業を行う。その傍ら、NPO 団体モーネの活動にボランティアとして参加し、青少年のための野外活動に関わっている。研修内容を積極的にフィードバックし、自己研鑽に努めている。神奈川県子ども会連絡協議会のユース・リーダーズクラブにも所属していたので、青少年センターの事業に精通している。

—この研修で得られたことと、実際の活動に活かしたことは何ですか？

なるべく、ゴードンメソッドを取り入れようとしたことです。健常児が集まるモーネには、スムーズに適應できましたが、発達障害のある子には合う/合わないがあり、難しさを感じました。子どもたちがどう思い、どう感じたかを察するとともに、子どもたちの口から「やりたい」や「これが嬉しかった」などが聞けることが増えたと感じています。

今年度はモーネの活動にあまり出席できませんでしたが、研修の資料や、新たに学んだものをまとめた資料を作り共有しました。また、9月下旬に行ったキャンプファイヤーのレクでも活用しました。

—活動に活かすために工夫した点はありますか？

子どもにとって難しいものとならないよう、概ねルールを変更することなく、子どもたちの「このレクなら私も説明できそう！」の声に基づいて、研修事業で学んだアクティビティを子どもたちに提供できたことです。

—活動に活かした結果いかがでしたか？

キャンプファイヤーでは、子どもたちが堂々とレクの説明や見本を見せ、成功させることができました。ペースとなったレクを「やりたくない」と最初に言っていた子は、途中から笑顔で「やりたい」と言って、一生懸命に説明や動きを覚えようと練習し、本番は滞りなく進めることができました。

—これから県立青少年センターに期待することや受けてみたい研修のテーマはありますか？

- ①インクルーシブ教育について  
懸念点、利点、配慮すべきこと、地域団体等との関わり方等を学びたいです。
- ②自然を活かした活動について  
以前にもあったような気がするのですが、もう一度受けたいです。
- ③子どもたちの「やりたい」や「一回挑戦してみる」を引き出す関わり方について知りたいです。

# 子どもが楽しく体験活動に 取り組めるように



## 研修事業

### リードアップセミナー

青少年行政に携わる新規採用や転出職員等に向けた研修。職務に必要な知識だけでなく、参加者相互の交流も多い。

### ユースボランティアセミナー

様々な体験を通して、野外活動やレクリエーション活動の知識や技術を学ぶ。習得したものを地域や学校等で発揮して活躍できるようにすることの他に、他地域で活躍する人とのつながりを構築する。

## 活用事業

### 「小学生対象こどもキャンプ」

小学生を対象にした1泊2日のテント泊キャンプ。野外炊事やキャンプファイヤーを体験しながら、自然の中で活動する楽しさを少年の森で味わう。

### 藤沢市少年の森について

1980年5月5日に開設された青少年野外活動施設。緑があふれ、野鳥や昆虫が息づく自然豊かな環境の園内には、アスレチックコースや木製遊具が設置されている。藤沢市みらい創造財団が管理運営している。



## Interview



黒澤 彩夏

藤沢市みらい創造財団少年の森に所属。今年度は、リードアップセミナーとユースボランティアセミナーに積極的に参加し、子どもや地域との信頼構築、自身の活動の意義等について考え、その資質能力の向上に努めた。

### —この研修で得られたことと、実際の活動に活かしたことは何ですか？

リードアップセミナーでは、青少年行政に必要な基礎知識を体系的に学ぶとともに、他機関との交流を通じて自らの業務を客観的に捉える視点を得ることができました。

また、信頼関係の構築や安全な場づくりの重要性を再認識しました。学んだレクリエーションや野外活動の技術は、少年の森でのプログラム運営に活かされ、子どもが主体的に参加できる環境づくりを強化することができました。

### —活動に活かすために工夫した点がありますか？

研修内容を現場で速やかに試し、小さな成功体験を積み重ねながら改善を図るよう努めました。

また、子どもたちの反応を丁寧に観察し、声かけや関わり方を状況に応じて柔軟に調整することを心がけました。

### —活動に活かした結果いかがでしたか？

研修で得た知識や技術を実践に活かした結果、子どもたちとの距離が縮まり、安心して話してくれる場面が増えました。また、活動中のトラブルや不安にも落ち着いて対応できるようになり、全体の雰囲気安定させることが出来ました。さらに、プログラムの質が向上し参加者の満足度も高まりました。他地域の参加者とのつながりは、活動改善の新たな視点やアイデアの獲得に寄与することができました。

### —これから県立青少年センターに期待することや受けてみたい研修のテーマはありますか？

- ・不登校・ひきこもりなど多様な背景を持つ若者への支援方法
- ・野外活動の安全管理やリスクマネジメント

## 生徒の自己肯定感を 高める一助に



### 研修事業

#### 体験学習プログラムセミナー

地域で青少年育成に関わる指導者を対象とした研修事業。アイスブレイキングやチームビルディング等の手法を学ぶだけでなく、実際の指導体験も行う。

#### 子どもの体験活動をすすめる 指導者セミナー(親業編)

青少年育成に関わる方々の要望に応じて実施した研修。今年度は親業(ゴードンメソッド)の考え方を通して、子どもが前向きな気持ちになれる関係づくりを学んだ。

### 活用事業

#### 県立湘南高等学校(定時制)における教育活動

#### 「他者との関係づくりを進めるソーシャルスキルトレーニング」

定時制高校に通う生徒が置かれた状況は多様である。様々な事情を背景にした生徒にとって、学び舎がより良い環境となるような人間関係づくりの一助となる機会の取り組みとして実践した。

神奈川県立湘南高等学校(定時制)について  
1948年に創立され、今年で77周年を迎えた単位制普通科の、伝統ある定時制高等学校。夜間定時制課程で、4年間での卒業を基本とする。定時制専用教室棟で1コマ45分の授業を行い、1校時が15:25から始まり、6校時が21:00に終わる。



## Interview



中島 裕

神奈川県立湘南高等学校(定時制)に所属。今年度は、上記研修事業で学んだアイスブレイキング・チームビルディング・親業について、青少年との関わり方や自身の指導スキルへと結び付け、その資能力の向上に努めた。

—この研修で得られたことと、実際の活動に活かしたことは何ですか？

- ・研修参加を経て、アクティビティが参加者同士の緊張を解き、互いに関わりやすい環境が創られていくことを実感しました。
- ・アイスブレイキングのためのプログラムを活用させていただきました。最初は、「銃と的」など手先を用いた動作から始め、「ウェスタンチャレンジ」など2人1組の活動、そして「ubuntuカード」や「じゃんけんチャンピオン」などグループ全体へと規模を拡大させながら、活動に取り組みました。

—活動に活かすために工夫した点はありますか？

- ・対象年次の1年次生とは今年度、公共を通して学習を共に進めてきました。その学習内容には、青年期やライフサイクルなどを扱う項目があり、そのことと重ね合わせながら活動を進めることで、生徒たちが、それぞれの実感を伴いながらアクティビティに参加できるようにしたいと考えました。
- ・活動参加に際してキャンプネームを用いました。「気軽な」ネームを活動に用いることで、他者と関わる際のハードルを下げ、活動に参加している生徒同士の心理的な距離を縮めるきっかけになると期待しました。

—活動に活かした結果いかがでしたか？

- ・活動序盤は後ろ向きであったり、緊張を伴いながら参加したりしていた生徒たちが、だんだんと他者と関わりを持ち始めるなかで緊張が解け、段階的に生徒同士のラポールが形成されていく様子を教室で確認できました。活動後は、余韻を含む穏やかな表情で過ごし、軽やかに会話するなど、活動の意義を感じた次第です。
- ・活動参加に際してキャンプネームを用いましたが、各アクティビティの最初で挨拶とともに用いることで、取り組みやすい雰囲気を作ることができました。とくに、2人1組の活動からクラス全体へ活動の幅を広げるなかで、よく関わるクラスメイト以外のメンバーとも関わる機会が生まれ、クラスメイトの他の一面を垣間見る機会ともなったようです。

—これから県立青少年センターに期待することや受けてみたい研修のテーマはありますか？

職員研修として学校現場に来ていただきご教示いただけると、多くの教員が知り、取り組む機会となるのではと考えます。

～ 子どもの体験活動を促す事業の様子～



# すぐ使える！ アイスブレイキング動画集 ～みんなが笑顔になれる実践ガイド～

緊張した雰囲気にはサヨナラ！



多世代交流に！



大人向けの研修に！



キャンプに！

子どもが集まるイベントに！



動画はこちら↓



かたまった心と体をほぐすアイスブレイキングゲームの動画集。30アクティビティを紹介。

## 問合せ先

県立青少年センター指導者育成課

電話 045-263-4466 (月曜休館)

FAX 045-242-8190

MAIL seishonen.c.ikusei@pref.kanagawa.lg.jp

# 笑顔になれる実践ガイド

私たち神奈川県青少年指導者養成協議会は、「アイスブレイキングをもっといろいろな人に知ってほしい、実践してほしい」という思いから、さまざまなアイスブレイキングを紹介する動画を作成しました。

このホームページでは、そんなアイスブレイキングの魅力をご紹介すると共に、子どもの体験活動、子どもが集まるイベント、キャンプ、学校の実践で使える動画をたくさんご紹介しています。

子どもたちに仲良くなってもらいたい。

初対面の緊張を和らげたい。

自分のコミュニケーションスキルを向上させたい。

そんな方々にとって、このサイトが役立つ情報源となれば幸いです。さあ、アイスブレイキングの効果を実感してみませんか？



## 協力

厚木市七沢自然ふれあいセンター 指導統括責任者 藤井 睦 氏	
湘南白百合学園小学校	教諭 加藤 直樹 氏
放課後かまくらっ子いまいずみ	溝井 美花 氏
横浜市立港南台第一小学校	教諭 工藤 理子 氏
神奈川県立有馬高等学校	教員・生徒のみなさん
駒澤大学総合教育研究部教職課程部門	川手 隆生 氏
神奈川県立青少年センター科学部科学支援課	山西 康介 氏

(1) 地域や組織で活躍する支援・指導者の研修等

■地域応援事業：通年で複数回開催

地域が行っている青少年活動の一層の活発化を図るために、市町村や団体と協働で研修を実施します。

■青少年指導員セミナー：5～6月 ※4地域で1回ずつ開催

主に新任の青少年指導員を対象に、レクリエーションの指導法や若者理解、若者とのコミュニケーション能力の向上等をテーマとした、専門家による体験的な研修を地域別に行います。

■NEAL リーダー養成セミナー：11月28日(土)～29日(日)、12月5日(土)

NEALとは、「Nature Experience Activity Leader」の略称で、安全で楽しい自然体験活動の企画・運営に必要な知識や技術を学びます。受講後の試験に合格すると、全国体験活動指導者認定委員会から「自然体験活動指導者(NEAL リーダー)」の資格が認定されます。

■子どもの体験活動をすすめる指導者セミナー

<子どものやる気を引き出すコーチング編>：8月20日(木)

子どもの体験活動の推進を図る中で生じる課題について、専門家を講師に招き体験型のワークショップを行います。令和8年度は「コーチング」を体験することで、子どもたちの自己肯定感を高める手法を学びます。

■体験学習プログラムセミナー

子ども・若者の主体的な学びや人間関係づくりをサポートするために、体験学習の手法を使ったさまざまなプログラムの指導法を学びます。

・子どもの心を動かすアイスブレイキング：7月26日(土)、8月9日(日)

子ども・若者の仲間づくりや学級づくり、会議の場での雰囲気づくり等に活用できるアイスブレイキングの初心者向け研修です。アクティビティを体験しながら学ぶ講座と、現場で実践する前のリハーサルができる指導体験型の講座があります。

・対話で変わるチームビルディング：7月20日(祝月)、秋季にも1回開催

仲間づくりや話し合いのトレーニングに効果的な、「コミュニケーションゲーム」「コンセンサスゲーム」「イニシアティブゲーム」などを体験し、これらを地域や学校で活用する方法についても考えます。

■子ども施設指導員セミナー：6月～12月 ※県内各地域で計6回開催

子ども施設(児童館、放課後児童クラブ等)の指導員を対象に、子ども・若者が自ら成長するための環境づくりや支援に必要な知識・技術の向上を図ります。

■リードアップセミナー：5月7日(木)、5月20日(水)～21日(木)、6月4日(木)

青少年行政や青少年に関わる活動の経験が浅い方を対象に、効果的なプログラム体験や施設見学、ワークショップ等を通して、青少年行政への理解を深め、ネットワークづくりを進めます。

## (2) 若者・リーダー育成の研修等

### ■ユースボランティアセミナー：6月21日(日)、7月11日(土)～12日(日)

中学生以上の若者(30歳未満)を対象に、仲間づくりのゲームや野外炊事、火おこし、ファイヤー等のキャンプの知識や技術を習得し、地域や学校等で活躍できるボランティアの育成を図ります。

### ■イベントボランティアセミナー：10月11日(日)、11月8日(日)、12月20日(日)、1月17日(日)、1月30日(土)、1月31日(日)

高校生以上のジュニア・リーダーを対象に、1月実施の「神奈川県立青少年センター子どもフェスティバル・子ども会大会」の企画と運営を通して、組織運営や企画能力を身につけ、子どもとの接し方を学びます。

### ■キャンプ活動セミナー：8月16日(日)、8月22日(土)～23日(日)

大学生年代の若者(30歳未満)を対象に、キャンプを通して、野外活動の楽しさや意味、宿泊体験活動の知識や安全管理の方法等を学び、今後の活動につなげていきます。

### ■子どもキャンププロジェクト：11月14日(土)、12月6日(日)、1月9日(土)、2月14日(日)、2月26日(金)～2月28日(日)、3月7日(日)

大学生年代の若者(30歳未満)を対象に、子どもキャンプの企画と運営を通して、地域や社会との関わり方や子どもとの接し方などについて学びます。

### ■コミュニケーションスキルアップセミナー：8月18日(火)

中学生以上の若者(30歳未満)と成人の青少年支援・指導者等を対象に、即興演劇の手法を使って、コミュニケーション能力や表現力の向上を図ります。

### ■ステップアップキャラバン：通年で複数回開催

指導者育成課の研修受講生を対象に、市町村や協力団体が実施する各種のイベントに講師として派遣し、指導の機会を提供します。

## (3) その他の事業（連携・活動支援・受託事業）

### ■子ども会大会（子どもフェスティバル）：1月31日(日)

### ■中学生の主張 in かながわ 作文コンクール：6～9月(応募期間)、9月27日(日)（発表大会）

### ■支援・指導の現場で活かせるレシピの作成（専門部会による成果物作成を兼ねる）

### ■元気な子ども・若者の地域活動調査事業（ジュニア・リーダーによる取材・調査と情報誌の作成）

### ■神奈川県青少年指導者養成協議会（総会・常任委員会・担当者会議・専門部会の開催）

### ■青少年資料室の運営（指導者育成課事務室内に収蔵する約2,200点の青少年に関わる資料整備）

### ■団体への支援・協力（青少年問題対策推進事業・体験の風をおこそう@かながわ）

### ■講師派遣（県機関・青少年主管課・青少年関係団体等が主催する事業への、専門家の紹介又は派遣）



指導者育成課  
ホームページへのリンク

---



神奈川県青少年指導者養成協議会  
専門部会 リンク

---



**【3年分の成果物】**

令和5年度専門部会

子どもと楽しむレシピミュージアム

令和6年度専門部会

わかものまんなか社会へー地域参画の事例集ー

令和7年度専門部会

すぐ使える！アイスブレイキング動画集

～みんなが笑顔になれる実践ガイド～



令和7年度

神奈川県立青少年センター指導者育成課 事業実施報告書

---

作成： 栗田 強太郎 狩野 陽士  
宇佐美 健彦 長南 悠太  
青木 祐樹 坂井 宏彰  
壁谷 亜美 佐久間 純恵

発行： 令和8年3月末日

編集： 神奈川県立青少年センター 指導者育成課  
〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-1  
TEL045-263-4466 (月曜休館)

---